

(一社)日本詩人クラブ 10月例会〈国際交流〉プログラム

言の葉を紡ぎ 自由を希求する

—ペルシア詩人たちからのメッセージ

「イラン人の99%は詩人である、ただ詩集を刊行しないだけ」
と言われるほどの詩の国イランより、気鋭の文学研究者お二人をお迎えます。

第一部で「自由」を希求する詩人たちについての講演を、
第二部では「自由」にまつわるペルシア詩の朗読を、
イランの伝統楽器サントゥールの演奏とともにお届けします。
多くみなさまのご参加をお待ちしております。

PROGRAM

総合司会 | 花潜幸
会員による詩の朗読 | 下川敬明、宮尾壽里子、森雪拾

第一部 司会進行：鈴木珠里

ゲスト紹介と小講演「ペルシア文学へのいざない」 | 佐々木あや乃
講演1「ルーミー著『精神的マスナヴィー』からのメッセージ」 | Dr.Mohammad DEGHANI
講演2「嗚呼、もし自由が歌をうたうなら(アフマド・シャームルー)： | Dr.Nasrin SHAKIBI MOMTAZ
ペルシア現代詩における「自由」の概念と立ち位置」

第二部

詩の朗読とサントゥール演奏、邦楽演奏
朗読1 Dr.Nasrin SHAKIBI MOMTAZ (日本語訳朗読：今村佳枝)
朗読2 Dr.Mohammad DEGHANI (日本語訳朗読：稲村拓也)
サントゥール伴奏：岩崎和音
伝統音楽の演奏 | サントゥール独奏：岩崎和音
| 箏曲演奏：深海あいみ

※会の終了後、ホール内のカフェ・スペースにて懇親会を行います。(懇親会は有料です)

2024年

10月12日(土) / 入場無料

13:30開演〈17:30終了〉 会場 / 東京外国語大学 プロメテウスホール

主催 / (一社)日本詩人クラブ

共催 / 「ペルシア語神秘主義叙事詩『精神的マスナヴィー』のデータベース化によるテキスト研究」科研、東京外国語大学ペルシア語専攻、東京外国語大学総合文化研究所
連絡先 / 例会・国際交流担当理事 丹羽京子 (090-1107-1199) 谷口典子 (03-6265-7485)

登壇者プロフィール

Speaker profile

佐々木 あや乃

Ayano Sasaki

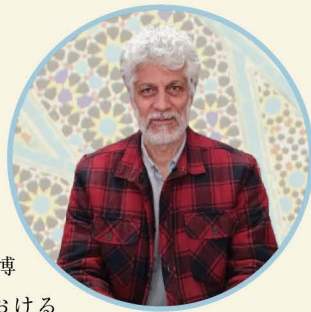


東京外国語大学教授。イランのテヘラン大学に学び2003年にペルシア語・ペルシア文学博士号取得。

専門は9～15世紀のペルシア古典文学で、特に13世紀のルーミーと14世紀のハーフェズへの関心が高い。訳書にアッタール著『神の書』（平凡社 東洋文庫893）。

モハンマド・デフガーニー

Dr. Mohammad DEGHANI



イランの文学研究者、作家、翻訳家。ペルシア語・ペルシア文学博士。イランの文学、歴史分野における著書多数。欧米や東アジアへの関心も高く、イランにおいて歴史、心理学、哲学の世界的名著のペルシア語訳を出版。著作・翻訳作品の講演活動やペルシア文学を中心とした市民講座はイラン全土で人気を博している。

ナスリーン・シャキービーモムターズ

Dr. Nasrin SHAKIBI MOMTAZ



東京外国語大学特定外国語教員。ペルシア語・ペルシア文学博士。世界の神話や民族英雄叙事詩、アフマド・シャームルーの現代詩への関心が高い。2022年10月より東京外国語大学にてペルシア語・ペルシア文学の教鞭を執る。

岩崎 和音

Kazune Iwasaki



イラン・ペルシア古典音楽サントール演奏家。大阪音楽大学作曲学科に在学中、ピアノの祖型といわれるサントールに出会い、独特の音色やリズムに魅せられる。テヘラン大学大学院芸術学部音楽学科イラン伝統音楽演奏コース（サントール）修士課程修了。古典音楽理論をダリユーシュ・タラーイー氏、サントール演奏法をカムカール兄弟らに師事、同大学より最優秀国際学生賞受賞。演奏活動の傍ら、都内でサントール教室パルディースを主宰、テレビ番組や映画・アニメの音楽制作も手がける。

深海 あいみ

Fukami Aimi



箏・三味線演奏家。4歳より箏、12歳より地歌三味線を母、深海さとみに師事。東京藝術大学音楽学部生田流箏曲専攻卒業。同大学院修士課程修了。利根英法記念邦楽コンクール奨励賞受賞。文化庁新進芸術家育成事業研修生となる。箏・三味線演奏家として各地で演奏活動を行う。

会場案内 東京外国語大 府中キャンパス

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

- JR 中央線「武蔵境」駅乗り換え
西武多摩川線「多磨」駅下車徒歩5分（JR 新宿駅から約40分）
- 京王電鉄「飛田給」駅北口より
多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車

Google Map

